

大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第七十二回京都大会から掲げてきた大会主題「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る」日本人の育成を目指す小学校教育の推進」による三回目の研究大会となる本大会では、大会主題の実現を目指し、これまでの研究成果と課題を引き継ぎ、組織をあげ鋭意努力してきた。

これからの我が国では、デジタルトランスフォーメーションによる社会構造の変化や多極化などがこれまで以上に進行することが予想される。また、持続可能な社会の実現に向け、国際社会における役割の重要性を認識するとともに、世界的な平和や地球環境問題など、世界の動向にも注視していく必要がある。このような中、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。教育においては、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するため、家庭・地域と連携して、「社会に開かれた教育課程」の実現と検証を図り、効果的なカリキュラム・マネジメントを確立していくとともに、グローバルな幅広い視野で教育活動を創造していくことが重要である。また、今日的課題として、東日本大震災をはじめとする被災各地における教訓と取組を共有し、風評被害や風化防止対策を講じること、また今もなお続いている新型コロナウイルス感染症の対応として、各地域の状況を踏まえながら、子どもの健康安全の保持及び学力保障にも継続的に取り組んでいかなければならない。

こうした社会の変化や国の動向を注視しつつ、自立的に生き抜くために必要な「生きる力」をバランスよく確実に育むことが学校教育の責務である。併せて、未来社会を切り拓こうとする志をもち、他者と協働しながら学んだことを、社会の発展に役立てようとする力の育成が求められている。そのため、小学校教育においては、地域と協働して取り組む教育活動により育んできた地域への愛着と誇り・自己存在感や自己肯定感を学びの原点として、地域社会や日本の将来、世界の未来を創造する心豊かな子どもを育成することが重要である。

私たち校長は、島根大会における副主題「ふるさとを学びの原点に 主体的・協働的に学び合い 豊かな未来社会を創る子ども」の育成」を基盤に据え、確かな計画と実行性をもって小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第七十四回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一、自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一、ふるさとを学びの原点に 主体的・協働的に学び合い 豊かな未来社会を創る子どもの育成
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域との連携・協働による教育活動の充実
- 一、新型コロナウイルス感染症対応を含めた安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の推進

右、宣言する。

令和四年十月十四日

第七十四回全国連合小学校長会研究協議会島根大会